

2001 年度研究報告会



2002年3月2日(土)午後2時から6時、渥美財団ホールにて、研究報告会が開かれ、2001年度の渥美奨学金受給者12名が自分の研究成果を発表しました。今期・来期の渥美奨学生やラクーン会(同窓会)のメンバー、財団役員に加え、今期奨学生の指導教授、日本で留学生支援をしていらっしゃる他の財団の方々にもご参加いただき、本年度最後の行事も盛会のうちに終わらせることができました。発表者は、自分の博士研究を「子供にもわかるように」「15分以内で」説明するのに大変苦労したようで



でしたが、全員がパワーポイント(コンピューターを使って発表するプログラム)を使ってビジュアルに、それぞれ素晴らしい発表をしてくださいました。最後に、来賓として出席くださった文部科学省高等教育局留学生課の坪井裕課長からご挨拶をいただきました。報告会の後、嶋津 SGRA 運営委員長より、渥美財団元奨学生ネットワークによる「関口グローバル研究会(SGRA)」の紹介、今後の研究フォーラムの案内がありました。その後、参加者はビールと中華料理、季節の菜の花ご飯などを食べながら歓談を楽しみました。



発表論文テーマ

ボルジギン・ブレンサイン「近現代におけるモンゴル人農耕村落社会の形成 - 内モンゴル東部の事例研究 - 」

範 建亭「中国の産業発展と国際分業 - 日本企業の対中直接投資と技術移転を中心として - 」

全 振煥「繰り返し曲げ荷重を受けたコンクリートの疲労の評価」

蒋 惠玲「不等間隔メッシュの FDTD 法によるアンテナ解析の研究」

金 香海「現代中国の対外経済政策 - APEC・WTO 加盟を事例に - 」

ブラホ・コストブ「Computer-mediated Emotional Intelligence, Agile Methods for Emotional Communication」

李 炫瑛「近世前期の加賀俳壇と蕉風俳諧の研究」

李 英淑「学校数学における協働的問題解決に関する研究」

梁 興国「DNA 二重鎖および三重鎖形成の光制御に関する研究」

ルイン・ユ・ティ「生活習慣関連要因と血漿総ホモシスチン濃度との関連は、5,10-メチレンテトラヒドロ葉酸

還元酵素遺伝子多型 (C677T MTHFR) によって異なるか? - 日本の一地域集団における横断研究」

奇 錦峰「微量生体液中のアセトアミノフェン及びその四つの代謝産物の高速液体クロマトグラフィ - 同時測定:

酸性除蛋白法はアセトアミノフェンの定量には不適当である」

ヨサファット・テトオコ・スリ・スマンティヨ「合成開口レーダーによる熱帯森林のモニタリング」

